

JBAA 海外情報（2017年4月24日）

この情報は主に海外の業界誌を紹介・抄訳するものです。誤情報や誤訳に対し JBAA は責任を負いません。情報の使用に際しては、記載されている URL の情報源をご確認下さい。

ビジネス：

Textron 社の CEO、スポット買いの顧客増を指摘

2017年4月21日：Aviation International News

Textron Aviation 社の CEO は、新造機の購入で長期的な発注よりもスポット買いをする顧客が増えており、この状況は今後も続くと語った。その結果、同社の受注残高はここ3年、ほぼ\$1B と変わっていない。また、安易な値引きはしないこと、同社（傘下の Cessna と Beechcraft）の販路は2018年までは米国が中心であるとも語っている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-21/textron-chief-spot-market-persisting-bizjets>

AirAsia グループ、BJ 運航会社を設立

2017年4月19日：ch-aviation

マレーシアに本拠を置く AirAsia グループは、Bombardier Global Express 1機を管理/運航する AirAsia Corporate Charter 社を設立したと発表した。

情報源：<https://www.ch-aviation.com/portal/news/55182-airasia-establishes-executive-jet-charter-unit>

Embraer Executive Jets 社 CEO、値下げよりも付加価値

2017年4月19日：Aviation International News

Embraer Executive Jets 社の新 CEO は、値下げではなく、新技術、サービス/サポート体制、信頼性などの価値を高め、機材のコストパフォーマンスを上げることが重要だと語っている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-20/bizjet-pricing-still-soft-embraer-stresses-value>

Textron Aviation 社の2017年第1四半期の業績

2017年4月19日：Aviation International News

Textron Aviation 社は、2017年第1四半期の納入機数は、Beechcraft King Air が前年の26機から12機に54%落ち込んだものの、Cessna Citation は35機で、前年より1機多かった。売り上げは\$970M（前年比-\$121M）、利益は\$36M（前年の半分）であった。同社によると、King Air の半数以上が国外に納入されるが、このところのドル高で買い控えがあったとしている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-19/textron-aviation-1q-king-air-shipments-fall-jets-flat>

日本航空、パリ以遠に BJ 接続

2017年4月19日：FlightGlobal

日本航空は2017年5月1日から、パリ以遠に Dassault Falcon Services (DFS) 社が運航する BJ の接続サービスを提供する。JAL 便で Charles de Gaulle 空港に到着した乗客は DFS 社の FBO がある Le Bourget 空港まで待たされることなく地上移動し、BJ でアフリカおよび欧州各地へ向かうことができる。DFS は様々なサイズの Falcon を9機運航し、料金は機材/飛行距離に応じて課金される。JAL は米国他でも同様のサービスを開始する可能性があるとしている。この JAL の新しいサービスは、Lufthansa 社が NetJets 社を使用して欧州および北米で行っているサービスと同様のものと思われる。

情報源：<https://www.flightglobal.com/news/articles/jal-teams-with-dassault-for-private-jet-connections-436322/>

中国の BJ 保有、復活の兆し

2017年4月14日：Aviation Week & Space Technology

2013年に始まった中国の腐敗防止旋風で鳴りを潜めていた富裕層や有力者による BJ 保有が復活の兆しにあるという、Asian Sky Group など何社かの分析が紹介されている。

情報源：http://aviationweek.com/business-aviation/chinese-billionaires-again-warming-business-jets?NL=AW-05&Issue=AW-05_20170417_AW-

[テキストを入力]

機材：

HondaJet、台北でデビュー

2017年4月21日：BART International

Honda Aircraft 社は、2017年4月21日、台北松山空港で HondaJet を披露した。同社の藤野社長は、台湾は Light Jet の有力な市場で、HondaJet は同国のビジネスに寄与し、多くの引き合いを受けていると語った。

情報源：<http://www.bartintl.com/node/22042>

MRJ は採算度外視の国家プロジェクト

2017年4月17日：Reuter

5度に亘って就役時期が延期され、開発コストが高沸し、Regional Jet 市場参入の機会を逃しつつある MRJ についての取材記事である。MRJ は、YS-11 で実現しなかった日本の航空産業復活を目指す、採算度外視の国家プロジェクトであること、三菱重工やトヨタなどの大株主の後ろ盾があること、Launch Customer で15機を発注している全日空は MRJ 導入遅れのための代替機材を手当てしていること、今般の開発の遅れは、TWA 747の燃料タンク爆発事故の後に改定された規則に適合していなかったことによる電気配線の再設計が理由であること、採算ラインは達成される見込みのない1,200機であることなどが報じられている。

情報源：<http://www.reuters.com/article/us-japan-aerospace-mrj-analysis-idUSKBN17J1ST>

安全：

GAMA、新 FAR Part 23の訓練コースを開設

2017年4月21日：Aviation International News

General Aviation Manufacturers Association (GAMA) は2017年8月の FAR Part 23 (欧州では CS-23) の全面改訂に備え、訓練コースを開設した。教材は FAA 職員へのものと同じものが使用され、官民が同じ認識で同 FAR の運用に当たれるよう考慮されている。初回は4月20日にシアトルのボーイング社の施設で開催され、その後も月に1~2回のペースで全米で開催される。また、2018年には同じ基準を導入するブラジル、カナダ、中国、欧州にも展開される。Performance-based の考え方に基づく FAR Part 23の改訂は、将来的には回転翼機 (Part 27 & 29) や固定翼 T 類 (Part 25) に拡張される見込みで、初回の訓練コースが Part 23に該当する航空機を製造していなボーイング社の施設で開催されたのは、その布石と見られている。

情報源：<http://www.ainonline.com/aviation-news/business-aviation/2017-04-21/gama-kicks-training-new-part-23>

以上